

インテリア (1978)

INTERIORS

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 93分

初公開日 1979/04/14

公開情報 U A

【解説】

確かにアレン自身敬愛してやまないという、ベルイマンの圧倒的な影響下にある、彼にとっては初めてのシリアスな作品。もちろんそれまでの彼の笑いの中にシリアスな要素がなかったわけではない。その融合が「アニー・ホール」においてうまく図れ、それが受け入れられたことに自信を持って、よりシリアスな本作の製作にあたったのだろう。舞台はNYでもいつものマンハッタンや下町でなく、ロングアイランドの高級住宅地。いかにも落ち着き払った環境に住む、30年連れ添った両親に突然別居話が持ち上がる。ショックで、インテリア・デザイナーの母（ページ）は自殺未遂。三人の娘たち（キートン、ハート、グリフィス）は、愛人を作った父（マーシャル）の無責任をなじるが、父の連れてきたその人（ステイプルトン）は不思議な個性の持ち主だった。あらためて、夫と妻、親子の関係を問いただす彼ら……。もちろん、ベルイマン作品がそうであるように、激しく罵り合う台詞の応酬に神経は疲れるが、不思議に静謐な印象のあるのは、G・ウィリスの冷たい色調の精緻な撮影の賜物か。印象的なラストも含めて、やはり人まねっぽい作品ではある。

【クレジット】

監督	ウディ・アレン	Woody Allen	
製作	ロバート・グリーンハット	Robert Greenhut	
	チャールズ・H・ジョフィ	Charles H. Joffe	
脚本	ウディ・アレン	Woody Allen	
撮影	ゴードン・ウィリス	Gordon Willis	
出演	ダイアン・キートン	Diane Keaton	レナータ
	ジェラルディン・ページ	Geraldine Page	イブ
	E・G・マーシャル	E.G. Marshall	アーサー
	クリスティン・グリフィス	Kristin Griffith	フリン
	モーリン・ステイプルトン	Maureen Stapleton	パール
	サム・ウォーターストン	Sam Waterston	マイク
	メアリー・ベス・ハート	Mary Beth Hurt	ジョーイ
	リチャード・ジョーダン	Richard Jordan	フレデリック